



JASDAQ

平成 24 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 EMCOM ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 楊 燕姫
(J A S D A Q ・ コード 7954)
問合せ先 経理部長 菊池 貴之
電 話 03-5436-4280

特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、本日発表の平成24年12月期第3四半期において、下記のとおり特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の内容

(1) 固定資産の減損損失計上について

当社連結子会社であります EMCOM KOREA CO., LTD (本店：大韓民国 ソウル市、代表取締役社長：李正先) が所有する固定資産の一部について、将来の回収可能性を検討した結果、減損損失 15 百万円を特別損失に計上いたしました。

(2) 投資有価証券評価損計上について

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 24 年 12 月期第 3 四半期において有価証券評価損 121 百万円を特別損失に計上いたしました。

平成 24 年 12 月期第 3 四半期における有価証券評価損 (単位：百万円)

平成 24 年 12 月期第 3 四半期会計期間 (平成 24 年 7 月 1 日から平成 24 年 9 月 30 日まで) の有価証券評価損の総額 (= A - B)	121 百万円
(A) 平成 24 年 12 月期第 3 四半期累計期間 (平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 12 月 31 日まで) の有価証券評価損の総額	121 百万円
(B) 直前四半期 (平成 24 年 12 月期第 2 四半期) 累計期間 (平成 24 年 1 月 1 日から平成 24 年 6 月 30 日まで) の有価証券評価損の総額	0 百万円

※ 四半期における有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

※ 当社の決算期末は、12 月 31 日です。

(3) 長期前払費用の減損損失計上について

長期前払費用のうち、当社が保有する施設利用権について、当該施設の運営会社が会社更生法による更生手続きを開始したことから、減損損失 10 百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 業績予想の修正

本件につきましては、別途本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参考下さい。

以 上